

中野そよ 画像集

YAMAZAKI

diver FILE 18



みるくさんに癒してもらおう!!

俺は名も無きエロマンガ描きである。エロマンガを必死に描き上げた後、俺は肉体的な疲労とは別に、精神的なダメージを受けている事に気づく時がある。「汚れ」が心を蝕み、前向きな考えを奪い去り、絶望の淵を漂ってしまうのだ。こうなると自力ではしばらくは立ち直れなくなる。

そんな時俺は「みるく」さんを呼ぶ。みるくさんは「秋葉原メイド掃除クラブ」のメイドさんで、出張で部屋の掃除をしてくれる笑顔のかわいい超巨乳の美女である。彼女は部屋の掃除だけではなく追加料金を払えば心の掃除もしてくれるのだ。

その日もエロ同人の入稿をどうにか終えた俺はみるくさんを呼んだ。部屋でボロ雑巾の様になっていた俺のもとに、メイド服に押し込められた「ポッチャリ」ボディーで彼女はやって来た。彼女にたっぷり癒してもらった俺は、再び「汚れ」に立ち向かう気を取り戻す事が出来た。これはその時の模様を俺が再現したものである。

それにしても彼女は一体何者なのだろうか？間違いなく「みるく」はメイド版の時の名前だろう。時折あの天使の様なやさしい笑顔の瞳の奥の奥に勝負師の輝きを見たような気がするのだが……まあ俺には関係ないか…



中静 そよ

年齢19歳。賭け将棋を生業とする真剣師の強者。

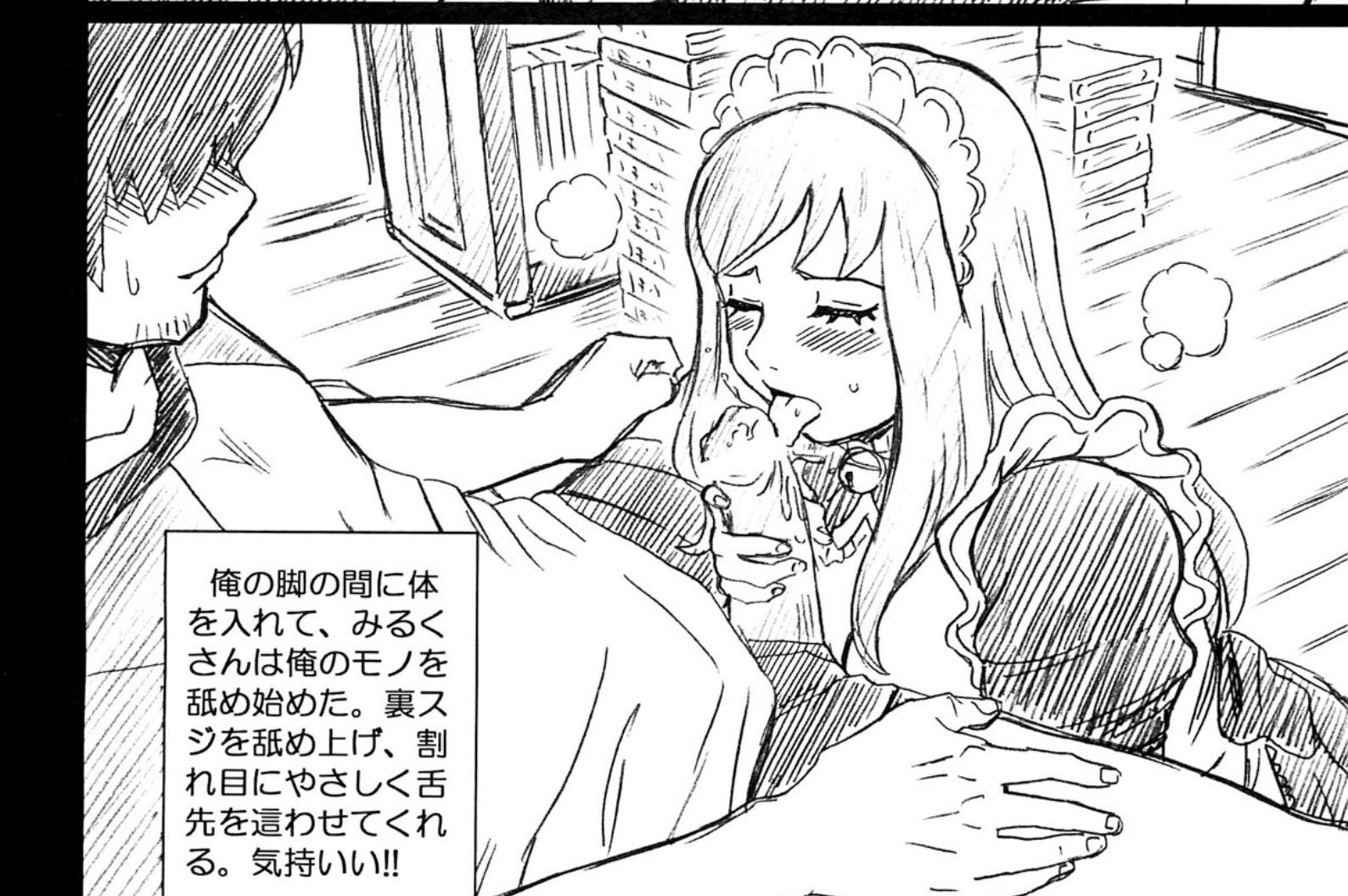
「アキバの受け師」と呼ばれる。掃除メイド「みるく」というもうひとつ別の顔を持つ。その素顔はいまだ謎に包まれている。

また追加料金でお願いすると、みるくさんは正座をして「解りましたご主人様」と言つておじぎをした。首元の鈴が「チリン」と鳴った。

靴下を脱がせたみるくさんは、もう1週間もフロに入っていない俺の足をいやな顔ひとつせず舐め始めた。丁寧に舐めて綺麗にしてくれた。



みるくさんは俺のヘソや乳首を舐めながら、俺のモノを取り出し、先端をあの超巨乳にこすりつける。どんどん先走り汁が溢れ出して來た。



俺の脚の間に体を入れて、みるくさんは俺のモノを舐め始めた。裏スジを舐め上げ、割れ目にやさしく舌先を這わせてくれる。気持ちいい!!



みるくさんの唾で濡れた俺のモノをしごきながら、彼女は俺の玉に吸い付いた。両方の玉を交互に口に含んで口の中で転がしまくった。



俺の好みをよく知るみるくさんは俺のケツの穴に舌を這わせ始めた。彼女はたっぷり時間をかけて、俺の最も汚い穴を舌で清めていった。



みるくさんは舌先を俺のケツの穴の中にもぐり込ませて來た。激しい出し入れを繰り返しながら、亀頭と玉を刺激する事もけっして忘れない。



みるくさんの超巨乳の中に完全に埋没するパイズリはいつも最高だ!! 包み込まれる様な感触に、遂に俺は「汚れ」を思い切り吐き出した。



さらに追加料金でアナルSEXを頼むと、みるくさんはイチジク浣腸を取り出し自分で注入を始めた。一度出さないと入らないらしい。



出す所を見せて欲しいとお願いすると、みるくさんは恥ずかしそうにしながらも、新聞紙の上に見事な極太一本糞をヒリ出して見せてくれた。



あとがき

どうもIRIEです。今回はなんと「ハチワンダイバー」本です。かなり突発的にやってしまいました。春スタートのアニメもこれといったものが無かったし、ドラマ（まあ、ガンバってたとは思う）もやってたんで「やってしまえ！」って感じでした。気に入って頂けたら嬉しいです。

それにしてもこんなに肉感的なキャラは初めてでした。いくら設定を巨乳にしたとしてもここまで描いた事無かったです。「ポッチャリ」と「デブ」の差は難しいですね。（ほとんど紙一重）でも意外と描いてて楽しかったです。

あと、始めから女性が従順なのを描いたのも初めてかも…私の場合奉仕物でも無理矢理やらせるのが基本なんですね。（どんな基本だ！）そもそもどちらかと言うと私はメイド物が苦手なんです。でもこれまた不思議と描いてて楽しかったんですよね。

では!!

発行：RAT TAIL

発行者：IRIE

YAMAZAKI

発行日：2008. 8. 17

連絡先：irieyamazaki@icom.home.ne.jp



RAT TAIL

